

新型コロナウイルス感染症、感染予防についての参考資料 等

○「【子どもに関わるすべての方々へ】感染症対策下における子どもの安心・安全を高めるために」

一般社団法人 日本臨床心理士会災害支援プロジェクトチーム、一般社団法人 日本公認心理師協会災害支援委員会、公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの三団体共同のメッセージです。学校からのお知らせ資料として活用できます。[別添資料 2](#)として添付しています。

<http://www.jsccp.jp/info/infonews/detail?no=698> から無料でダウンロードできます。

○「コロナウイルスってなんだろう？」

藤田医科大学医学部微生物学講座・感染症科が岡崎市教育委員会からの依頼を受けて作成した小学生用のパワーポイント資料です。児童生徒向けの指導に活用できます。英語版もあります。[別添資料 3](#)として添付しています。

<http://www.fujita-hu.ac.jp/~microb/> から無料でダウンロードできます。

○動画「子どものこころのサポート」1～3

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが作成した子どものための心理的応急処置に関する You Tube 動画です。教職員研修等に活用できます。

https://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc_activity.php?d=3192

○厚生労働省「国民の皆さまへ（新型コロナウイルス感染症）」情報提供ページ

厚生労働省の新型コロナウイルス感染症に関する情報提供ページです。新型コロナウイルス感染症の最新情報、各種相談窓口の情報や手洗いやマスクの仕方などの動画も見ることができます。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00094.html

○文部科学省「学校再開に向けて（Q&A、通知等）」

「新型コロナウイルス感染症に対応した小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校等における教育活動の再開等に関するQ & A」等を見ることができます。

https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00001.html

○大阪府「新型コロナウイルス感染症対策サイト」 <https://covid19-osaka.info/>

<各種相談窓口>

・厚生労働省 電話相談窓口 0120-565653（フリーダイヤル）

受付時間：9：00～21：00（土日・祝も実施）

・大阪府 府民向け相談窓口 06-6944-8197（FAX：06-6944-7579）

受付時間：9：00～18：00（土日・祝も実施）

・新型コロナ受信相談センター（帰国者・接触者相談センター）

各市町村の保健所等が窓口となっていますので、下記の URL をご確認ください。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/iryo/osakakansensho/corona-denwa.html>

・大阪府教育センター「すこやか教育相談」

子どもからの相談（すこやかホットライン） Tel：06-6607-7361 sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp

保護者からの相談（さわやかホットライン） Tel：06-6607-7362 sawayaka@edu.osaka-c.ed.jp

教職員からの相談（しなやかホットライン） Tel：06-6607-7363 sinayaka@edu.osaka-c.ed.jp

感染症対策下における**子どもの安心・安全を高めるために**

新型コロナウイルス感染症対策として、感染の拡大のスピードを抑制するため、さまざまな取り組みが行われています。その中で、学校の休校、イベントの中止やいろいろな情報が流れるなど、子どもや子どもの身近にいる大人の生活にも大きな影響が出てきています。

子どもたちの中には、自分や家族も病気になるのではないかと不安を抱き、いつもと異なる反応や行動がみられることがあるかもしれません。これらの反応・行動は一般的なことであることを知っておくことが大切です。



- 腹痛や頭痛、不眠、食欲不振などの身体症状を示す
- いつもより泣いたり、大人にしがみついて離れない
- 急に幼い言動をしたり、夜尿、お漏らし、わがままになるなど、いわゆる赤ちゃんがえり
- 遊びの中で起きている出来事を再現する



感染予防の観点からの**子どものための安全な環境づくり**

放課後児童クラブ(学童保育)などで、長時間、大人数の子どもが室内で過ごす場合、感染予防の観点から以下の点に気を付けてください^{※1}。

- 定期的な換気
- 密閉した空間で大人数が集まるよりも、屋外や広い屋内で、人が密集せずに十分に体を動かす配慮
- アルコール清拭による消毒(おもちゃ、子どもが良く触れるドアノブなど)
- 体調が少しでも悪い子どもを早めに見つける。また、利用を控えてもらう(健康チェックカードの利用など)
- 体調が少しでも悪い職員は勤務を控える
- 体調が悪い家族のいる子どもや職員の利用は控える
- 食事やおやつの前、遊んだ後などの手洗いとアルコール消毒の徹底
- 調理活動は控える



子どもや親、養育者の不安を軽減する：正しい情報を伝えること

感染症の流行や自然災害など大きな出来事が起こった際には、その出来事に関するいろいろな情報やうわさが広がり、そのことによって、どの情報が正しいのかの判断が難しくなることがあります^{※2}。子どもはよりその影響を受けやすいといえます。子どもが心身ともに良い状態で過ごすために、ぜひ皆さんに気をつけていただきたいことがあります。

子どもが出来事に関連したテレビのニュースや映像を繰り返し見ることがないようにしてください。子どもは認知的にも情緒的にも発達途中段階であるため、映像の中の出来事を現在の状況ととらえたり、より不安や恐怖を増強することがあります。

また、年齢が高くなるにつれ、スマートフォンやインターネットを通して、子どもが自分で情報を得られるため、うわさやデマの被害に遭うリスクが高くなります。子どもに対しては、個々の発達や理解に合わせた情報の提供や、正しい情報の取り方について話し合うなど、家族や身近にいる大人のサポートが必要です。情報が、いつ、どこ(誰)から発信されたものかについて、注意を払うようにしてください。

感染拡大に対する状況や方針は、以下にお示しするURLの情報をご参照ください。

○ 厚生労働省「新型コロナウイルス感染症について」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

※掲載情報は随時更新されますので、都度、ご確認くださいませようお願いいたします。



不安やストレスを抱えた子どもや家族へのコミュニケーション

不安や恐れなど心理的ストレスを抱えている子どもや家族と関わる時には、以下を参考にしてください^{※3}。

- ニーズや心配事を確認する
- 支援が必要と思われる子どもに注意を向ける
- 安心して落ち着けるよう手助けする
- 自ら話すことを聞く
- 基本的ニーズ(衣・食・住)を満たし、可能な限り日課や習慣を保つ
- 規則正しい生活を保つ
- 室内でも、ストレッチやラジオ体操をするなど少しでも体を動かす工夫を生活の中に取り入れる
- 信頼できる情報を得られるように手助けをする
- 公共サービス、社会的支援につなぐ
- 自分の力で自分を守れるよう支援する(手洗い、咳エチケット、適度な運動など)



もし、地域に新型コロナウイルスに感染し、快復した後に学校へ登校する子どもがいる際には、学校と連携し、差別が生じないよう、クラスの子どもたちには事前に病気について分かりやすい言葉で伝えておくことも大切です。

また、子どもの中には、依然として強いストレスを抱えていたり、日常生活に支障をきたしているなど、自分だけでは上手く対処できず、さらなる支援を必要とする子どももいます。その際には、精神保健医療の専門家につなげる必要があります。すぐに専門家につなぐのが難しい場合は、教員、スクールカウンセラー、保健師など、地域の人たちから更なるサポートが受けられるようにつなぐことが重要です。

参考資料

○ 手洗い（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/dl/poster25b.pdf>

○ 咳エチケット（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000187997.html>

○ 「新型コロナウイルス感染症に関するQ&A（2020年2月27日現在）について」（日本小児科学会）

http://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=326&fbclid=IwAR1jofXGNA-uJ2goqmrCD0c2wA0DYgAbgCad1mJITUkxoOg0tmMQ9tRc-80

※掲載情報は随時更新されますので、都度、ご確認くださいませよう願いたします。

○ 子どものこころの支援「子どものための心理的応急処置」（セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン）

https://www.savechildren.or.jp/news/publications/download/PFA_191003.pdf

このメッセージは以下の団体により共同で発表されました。

一般社団法人 日本臨床心理士会災害支援プロジェクトチーム

一般社団法人 日本公認心理師協会災害支援委員会

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン



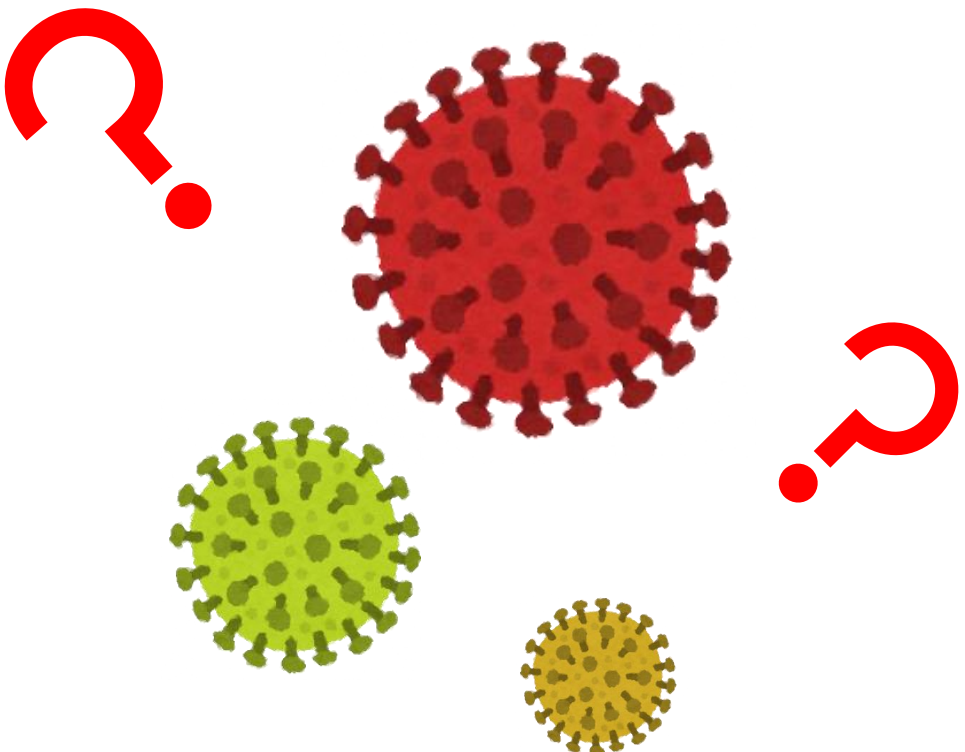
※1 「新型コロナウイルス感染症に対する感染管理」（国立感染症研究所 国立国際医療研究センター 国際感染症センター）

<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/corona/2019nCoV-01-200221.pdf>

※2 International Federation of Red Cross and Red Crescent Societies Psychosocial Center. Mental Health and Psychosocial Support for Staff, Volunteers and Communities in an Outbreak of Novel Coronavirus. [cited 2020 February 27]. Available from: https://pscentre.org/wp-content/uploads/2020/02/MHPSS-in-nCoV-2020_ENG-1.pdf

※3 「子どものための心理的応急処置」（セーブ・ザ・チルドレン）https://www.savechildren.or.jp/news/publications/download/PFA_191003.pdf

コロナウイルスって なんだろう？



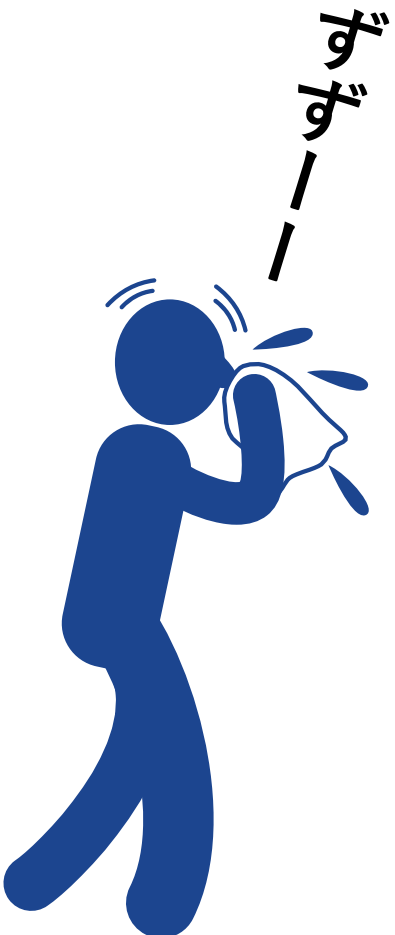
藤田医科大学感染症科
監修：小学生 (S.S. Z.S)

みなさんは、ウイルスって知ってますか？



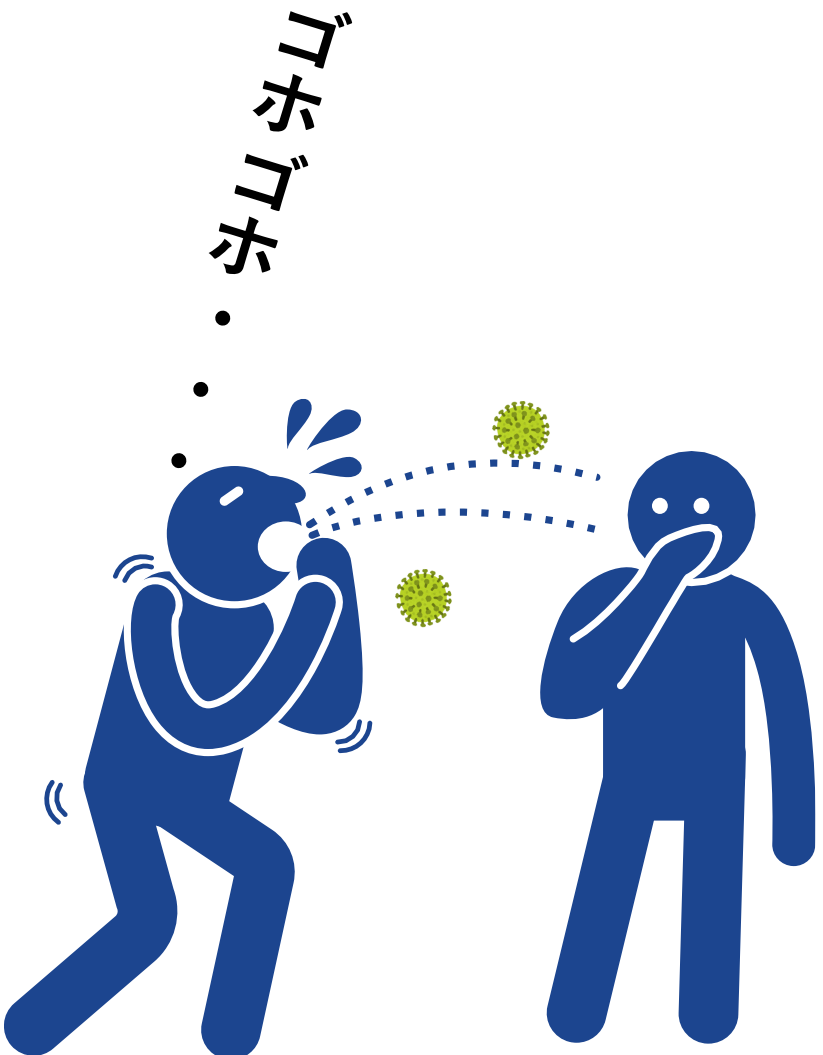
ウイルスは目にみえないくらい小さくて、ヒトや動物に感染しているいろいろな病気の原因になります。

今、テレビやニュースで話題に
なっているコロナウイルスも、
たくさんあるウイルスの一つで
す。

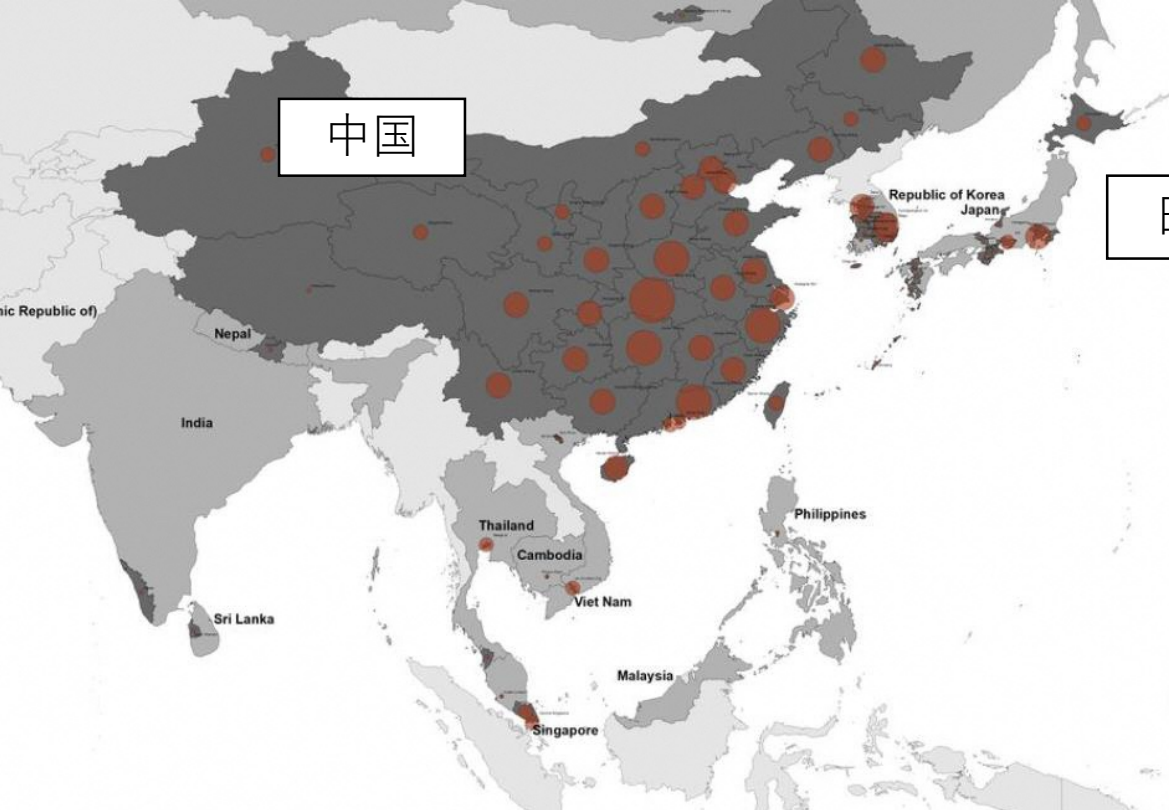


コロナウイルスは、熱・せき・く
しゃみなどひきおこす「かぜ」の
原因となるウイルスです。

コロナウイルスは、つば・せき・くしゃみにつけて人から人へと感染します。

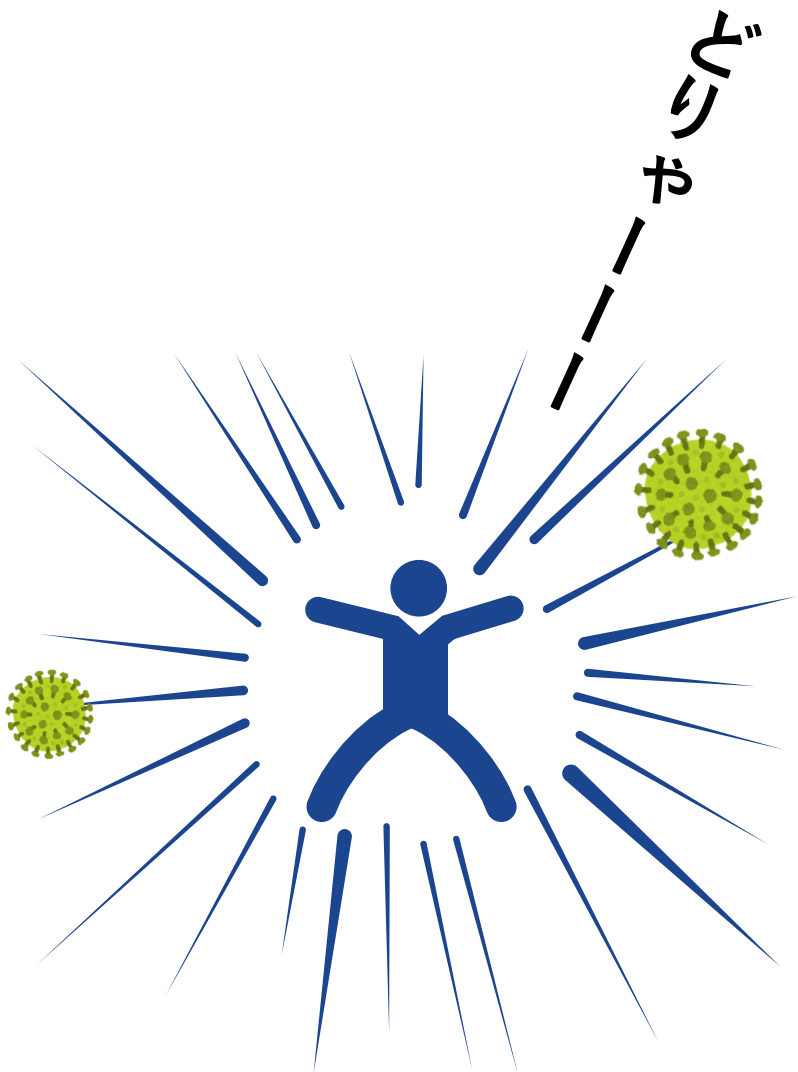


手についたウイルスが原因で広がることもあります。



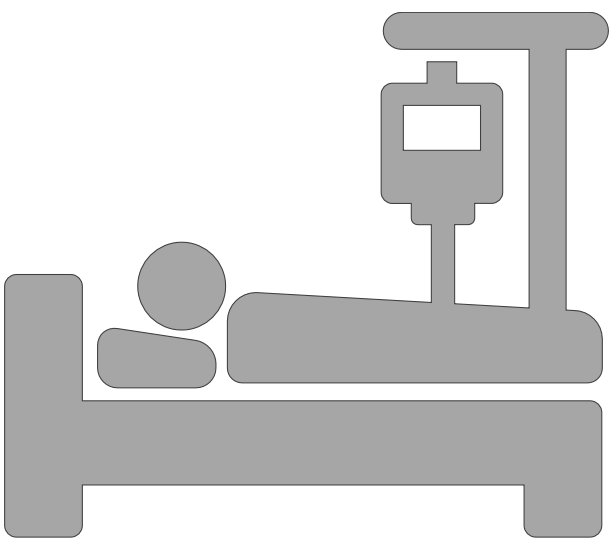
コロナウイルスにはいくつか種類があるので、昨年の十二月に中国でみつかった新しいコロナウイルスによる感染が日本でも広がっています。

この新しいコロナウイルス、
「小学生」は苦手みたいです。



子供がウイルスに感染しても、な
にもおきない、またはちょっとし
た「かぜ」くらいですむことがほ
とんどです。

しかし、おじいちゃんやおばあちゃん、もともと病気のある人が、この新しいコロナウイルスにかかってしまうと大変です。



重い病気になり、命をおとすこともあります。

自分を、家族を、またみんなを守るために、コロナウイルスを広げないことが大切です。



そのためにできることがあります。

コロナウイルスやっつけるぞ

作戦①

せっけんをつけて
しっかり洗う！



手あらい..

外から帰ってきたら、まずせっけんで手洗いを！
手についたウイルスを洗います。

コロナウイルスやつつけるぞ

作戦②

せきやくしゃみといっしょに
ウイルスがとびちるのをふせぐ。



せきエチケット..

せきやくしゃみができるときはマスク
をつける。または、くしゃみやせきの
時、口や鼻をハンカチなどで覆う。

コロナウイルスやっつけるぞ

作戦③

.....

ちゃんと休むことが
大切です。



かぜをひいたら家で休む..

ねっ、はなみず、せきなどがある時は
そとにです、家でゆっくりやすむ。

家族みんなで、「コロナウイルス
やっつけるぞ」作戦をおこなってく
ださい。



コロナウイルスがひろがらないよう、
ひとりひとりが気を付けましょう。